

令和3年度 特別養護老人ホーム江美の郷 事業報告

(短期入所含む)

1【計画】

特養稼働率97%、短期入所稼働率60%を目指す。

【結果】

入所は、稼働率96.2%、目標比99.2%で未達だった。
短期入所は、稼働率81.1%、目標比100.5%で達成した。

2【計画】

安心、安全な生活のための健康管理

入院率の低下を目指します(入院延べ日数50人/月以下)

【結果】

- ・入院者数が、期間中で延604名(去年同期785名)、月延50名を超えたのは6、10、11、1、3月で下半期に入院が増えた。月平均50.3名だった。
- ・誤嚥性肺炎発症者10名。
- ・尿路感染症発症者1名。
- ・転倒事故等による骨折者0名。
- ・その他17名(定期的にステント交換、尿管結石、心不全など)
- ・ウイルス感染症の発症は無かった。

3【計画】

接遇への取り組み

安心できるサービスや環境の提供に努めます。

【結果】

- ・行動規範と振り返りシートを用い、全職員を対象に4名の職員が2月と3月で面談を実施した。
- ・美化委員が環境整備表を作成し、担当が掃除や整理整頓を行った日にチェックを入れた。職員同士で声掛けを行い、啓発ポスターを掲示することで徐々に各自が自覚して環境整備ができるようになった。

4【計画】

働きやすい職場づくり

業務負担の軽減を行い、離職の予防に努めます。

【結果】

- ・勤務時間内ミーティングを毎日行うことで、日々変化する利用者様の状態や課題等を話し合うことができている。
- ・有給休暇については、全職員が5日以上有給休暇を取得した。
- ・個別面談については外部のキャリアコンサルタントの方に入っただき、月に1~2名面談を順次実施。
- ・福祉用具を活用し、個々に合った移乗方法を理学療法士の指導の下行うことで、利用者様にも職員にも負担の少ない介護ができている。
- ・LINEWORKSは9割の職員が活用できている。部署内だけでなく、各委員会やリーダー、他部署との連携にも有効に活用できている。

5【計画】

人材育成

技能実習生の教育を行い、業務の改善ができる。

ケアについての情報共有を行い、提供するサービスの維持向上を図る。

【結果】

- ・技能実習生の指導は順調にできた。
- ・動画マニュアルは少しずつ作成中である。
- ・ケアを語る会については毎月実施し、今年度は「食事」について取り組んだ。毎月「はめを外す日」を設け、ご利用者の希望されるものやノンアルコールビールを提供し、普段の日常と異なるひとときを楽しんで頂けた。

6【計画】

食事内容の充実

【結果】

- ・異物混入事故報告 1 件あり
- ・ソフト食、ペースト食硬さの統一は他部署との連携を取り、改善に努めた。
- ・食中毒 0 件で安全な食事提供をすることができた。
- ・温冷配膳車を利用し適切な温度で提供することができた。
- ・月 1 回程度の付け忘れがあり、連絡があった場合すぐに提供を行っている。

7【地域交流】

1. 保育園運動会の観覧（5月）
2. 家族会の開催（6月）
3. 十七夜参加（8月）
4. 江府中学校の校舎を磨く会への参加（9月／職員 5 名参加）
5. 秋祭り（9月）

【結果】

計画の内容は実施できていない。しかし、江府町の文化祭に作品を出展したり、江府小学校より「人権の花」の寄贈を受けたりし、交流を図った。

8【職員教育計画】

資格取得の推進と研修の実施

【結果】

- ・介護福祉士（受験者 0 名）
- ・介護支援専門員（受験者 5 名、合格者 0 名）
- ・喀痰吸引研修（受験者 0 名）
- ・管理栄養士（受験者 0 名）
- ・認知症実践者研修（受験者 0 名）
- ・認知症についての研修は WEB 研修で行った。
- ・腰痛予防についての研修は適宜 PT により内部研修を行った。
- ・その他研修については新型コロナウイルスの関係でオンラインでの参加となるものが多かった。各々参加した外部研修には、延べ 30 名が参加をした。（特養別紙「令和 3 年度外部研修参加実績」を参照）
- ・内部研修として看取り委員会主催でエンゼルケアの研修、事故委員会主催で事故報告書の書き方についての研修を全介護職員対象に行った。

9【行事計画】

4月	桜を見る会	10月	ハロウィン仮装運動会
5月	鯉のぼりの作品づくり	11月	音楽会、リース作り
6月	和菓子バイキング	12月	クリスマス会、1月の作品づくり
7月	七夕飾り	1月	新年会
8月	ミニ夏祭り	2月	節分
9月	敬老会、10月の作品づくり	3月	雛祭り

[結果]

計画通り実施できた。

4月	桜を見る会	10月	ハロウィン仮装運動会
5月	鯉のぼりの作品づくり	11月	音楽会・リース作り
6月	和菓子バイキング	12月	クリスマス会・1月の作品作り
7月	七夕飾り	1月	新年会
8月	ミニ夏祭り	2月	節分
9月	敬老会、10月の作品づくり	3月	雛祭り

令和3年度 グループホーム江美の郷 事業報告

1【計画】

全国平均稼働率 96%以上を目指し安定した運営をする

[結果]

稼働率 94.8%、目標比 98.8%で未達成であった。

2【計画】

健康管理

[結果]

4月に1名、5月2名、2月1名の入院者があった。(実人数)

転倒による骨折という重大事故が1件発生した。その他にも、大きな事故にはつながっていないが、転倒を繰り返されている利用者様が居られる為、注意と対策の検討が必要である。

3【計画】

生活の中の「こだわり」を大切にする。

[結果]

コロナウィルス感染予防の関係で面会・外出等全てにおいて制限があり施設内で出来る事を中心に行った。コロナの状況を見ながらエミーズカフェへ外出をした。食欲の無い入居者様にご家族と相談して、ご本人が以前から好まれていたものを提供した。

4【計画】

認知症の進行を抑制する。

[結果]

外に出る事が出来なかったが施設内で季節を感じて頂けるおやつを作って頂き、役割を持って生活できるよう支援した。

5【計画】

サービス品質向上のためのセルフチェックの実施

[結果]

外部機関へ委託しているアンケート調査を使用した。

6【地域交流計画】

1. 家族交流会の開催
2. 江府中学校の校舎を磨く会への参加
3. 保育園運動会の観覧
4. 十七夜を楽しむ

[結果]

コロナ禍のため全て中止をした。

十七夜の花火は、当日雨の予報だったため見る事が出来なかった。

7【職員教育計画】

1. 内部研修及び外部研修会へ積極的に参加する。
 2. 認知症専門ケア加算要件の研修会へ1名以上参加する。
 3. 介護支援専門員に1名以上合格する。
- 10月受験（2名）

[結果]

1. WEB研修を積極的に参加できた。
外部研修への参加は以下のとおり。
 - ・中小企業のための中堅リーダー育成講座（1名）
 - ・社会福祉法人 主任／課長講座オンライン（1名）
 - ・看護師職能研修「できますか？リスクマネジメント」（1名）
 - ・安全推進者養成講習会（1名）
2. 参加出来ていない
3. 2名受験し不合格

8【行事計画】

4月	花見	10月	花回廊ツアー
5月	藤の花見	11月	紅葉ドライブ
6月	ドライブ	12月	しめ縄づくり 忘年会
7月	納涼会	1月	新年会
8月	江尾十七夜	2月	節分会
9月	敬老会	3月	雛祭り

[結果]

外出を中心とした行事を実行することが困難であったため、グループホーム内で可能な事を実施した。

- 8月：七夕会としてそうめんを提供し季節を感じて頂いた。
 - 9月：敬老会はグループホーム内のみ実施
 - 12月：新年会はグループホーム内のみ実施
 - 2月：節分会にてじゃぶ汁作りを行い楽しんで頂いた。
 - 3月：雛祭りはグループホーム内のみ実施
- 上記実施以外の計画は全て中止した。

令和3年度 デイサービスセンター江美の郷 事業報告

1【計画】

一日利用者数平均 25 人を目標に、稼働率 80%を目指します。

[結果]

達成できなかった。

2【計画】

季節の変化を感じて頂ける行事の企画や季節の飾りつけ、作品作りをお客様と一緒に作り上げ、達成感や通所への外出意欲向上を目指します。レクリエーション年間計画に沿って、生活行為向上を目指す為の幅広いレクリエーション内容を提供します。

[結果]

4月：(生活レク強化月間) 桜壁画作成、花見、押花作品作り

5月：(脳トレ強化月間) 鯉のぼり壁画作成、生け花、変わり湯(よもぎ湯)

6月：(下肢筋力強化月間) 紫陽花壁画作成、父の日会、変わり湯(菖蒲湯)

7月：(生活レク強化月間) 七夕壁画作成、七夕手芸、外出支援(エミーズカフェ)

8月：(脳トレ強化月間) 夏壁画作り、夏祭り

9月：(下肢筋力強化月間) 秋壁画作成、デイサービス敬老会、変わり湯(コスモス湯)

10月：(生活レク強化月間) 月見壁画作成、運動会、文化祭作品作り、変わり湯(柿の葉湯)

11月：(脳トレ強化月間) 壁画作成、皆勤賞お祝い

12月：(下肢筋力強化月間) クリスマス壁画作成、クリスマス会(エミーズカフェ)、変わり湯(ゆず湯)、リース作り

1月：(生活レク強化月間) 新年会、書初め、絵馬作り、正月遊び、初釜

2月：(脳トレ強化月間) 節分壁画作成、変わり湯(みかん湯)、お雛様作り

3月：(下肢筋力強化月間) 雛祭り壁画作成、雛祭り会(写真撮影)

3【計画】

事故報告 0 件を目指します。

[結果]

事故報告が発生した場合、その日のうちにカンファレンスを行い、その場限りにならない再発防止策を立てて全体周知するよう取り組んでいる。ヒヤリハットについては、事業所のみで記録に残し、翌日朝礼で周知し観察を行うよう徹底している。

4【計画】

ケア会議を開催し、職員全体で通所介護計画書を用いて現行のサービスが適切か、よりよいサービスに向けて検討します。

[結果]

毎月 2~3 名についての検討会を行うことができ、職員全体でお一人おひとりについて考えることができ、良い時間を共有している。

5【地域交流計画】

- ・江府町内への外出支援
- ・江府中学校の校舎を磨く会への参加
- ・こどもの国保育園、江府小学校との交流
- ・十七夜の参加
- ・えんちゃんや道の駅への買い物
- ・江府町文化祭の参加
- ・ひな祭りコレクションにて江尾街中散歩

[結果]

コロナウイルス感染予防のため外出支援や交流を中止としたものが多くあったが、江府町文化祭の作品を作成し、見学に出掛ける事ができた。

6【職員教育計画】

認知症、レクリエーション、口腔ケア、排泄ケアなどの施設内外の研修に参加する。

[結果]

コロナウイルス感染予防のため施設外への研修への参加は中止し、Web研修を活用し積極的に参加を行った。

4月：倫理・法令遵守の理解	参加者数：9名
6月：食中毒の予防と蔓延防止	参加者数：11名
9月：感染症の予防と蔓延防止	参加者数：5名
12月：福祉用具を活用した移乗研修	参加者数：3名
2月：レクリエーション研修	参加者数：5名
3月：身体拘束を行ってはいけない理由	参加者数：11名

7【資格取得】

[計画]

介護支援専門員2名受験。

[結果]

2名とも資格取得出来なかった。

8【行事計画】

4月	変わり湯（花湯） 花見 押し花作品作り	10月	運動会 変わり湯（柿の葉湯） 文化祭作品作り
5月	母の日会 生け花 変わり湯（よもぎ湯）	11月	勤労感謝会 ちぎり絵作品作り
6月	変わり湯（菖蒲湯） 父の日会	12月	変わり湯（柚子湯） クリスマス会、 クリスマスリース作り
7月	外出支援（エミーズカフェ） 七夕飾り作り手芸	1月	新年会 書初め 初釜 正月遊び

8月	デイ夏祭り 変わり湯（ひまわり湯）	2月	変わり湯（みかん湯） 節分
9月	デイサービス敬老会 文化祭作品作り	3月	お雛様作り ひな祭り

[結果]

計画通り実施できた。

令和3年 まめトレ 事業報告

1【計画】

一般高齢者利用数 17 名、事業対象利用者 5 名を目指します。

[結果]

事業対象者数が目標に到達しなかった。

2【計画】

月替わりのコーディネーショントレーニングの提供を行うことで、楽しく運動が出来る環境を提供します。

[結果]

毎月のコーディネーショントレーニングは、ライズ監修の内容を提供している。

3【計画】

事故報告 0 件を目指します。

[結果]

人為的なミスによる車両事故、トレーニング時における転倒に注意し環境整備を行った。

4【地域交流】

- ・福祉保健課の食の講習会
- ・江府町文化祭の出展と見学
- ・定期的なえんちゃん和道の駅の利用

[結果]

コロナウイルス感染予防の為、米子などの人通りが多い所への外出は避けて、道の駅や花回廊等の外出支援を行った。

5【行事計画】

4月	外出支援（花見） 誕生日お祝い壁画作成	10月	江府町文化祭作品制作 誕生日お祝い壁画作成
5月	誕生日お祝い壁画作成	11月	外出支援（紅葉見学） 江府町文化祭作品出展、見学 誕生日お祝い壁画作成
6月	外出支援	12月	クリスマス会 外出支援
7月		1月	新年会 誕生日お祝い壁画作成
8月	外出支援 誕生日お祝い壁画作成	2月	
9月	江府町文化祭作品制作 外出支援 誕生日お祝い壁画作成	3月	外出支援 誕生日お祝い壁画作成

[結果]

4月、6月：花回廊外出支援

8月：道の駅外出支援

9月～10月：江府町文化祭作品制作、紅葉見学外出支援

11月：江府町文化祭作品出展、見学

1月：新年会として道の駅外出支援

3月：日野町外出支援

6【職員教育計画】

法人内外の研修の参加

[結果]

コロナウイルス感染予防のため研修参加は中止し、Web研修を活用し積極的に参加をしている。

令和3年度 訪問介護事業所江美の郷 事業報告

1【計画】

介護福祉士を中心とした職員で特定事業所加算Ⅰを目指す

[結果]

昨年度同様、介護福祉士の割合は85%。体制としては常勤換算を0.2%クリアしている状況。

重度要介護者の受け入れを継続し、特定事業所加算Ⅰを目指したが、対象者は昨年度と変わらず月平均1.6人で、年末には施設入所・逝去の利用者様があり、対象者が1名になってしまった。認知度がⅢa必要だがⅡbの利用者様が多い。今後認知症が進行し、算定対象になったとしても、認定更新はまばらなため早い段階での加算Ⅰへの変更は難しい。

2【計画】

営業時間を6時～20時とし、緊急時と夜間加算の算定、年中無休の提供としニーズの幅を広げる

[結果]

緊急時訪問の利用は1件だった。今年度も年中無休の対応で、年末年始の医療機関・通所サービス休止時の対応を他事業所と連携して、曜日変更等を行い稼働した。家族の帰省等の理由でキャンセルになるところは、曜日変更にて対応した。

3【計画】

職員・訪問介護事業所への評価の実施

[結果]

法人のアンケートと、プラン見直し時のモニタリングでご利用者からの評価を頂いた。

4【計画】

営業エリアは江府町を主とし、日野町へのエリア拡大は継続する

[結果]

営業エリアは江府町を中心に動いており、日野町は新規1件・施設入所1件で最大3件。(全体の新規・相談の内訳は総括参照)

現在の職員数では1日2～3人(曜日によって異なる)を超える職員の稼働が出来ないが、少しでも利用希望の日程に沿えるよう努力している。

5【計画】

ICT機器を有効に使用し、業務の効率化を図る

[結果]

「ちょうじゅ」「LINEWORKS」「smart watch」を活用し、主に情報共有の面で有効に使用出来ている。

6【地域交流計画】

1.江府町民生委員との関わり

[結果]

利用者様の家庭事情に関して民生委員さんや包括支援センターと連携し、利用者様の最善の生活に繋げることができた。

2. 江府町の地域・ボランティア活動への参加

[結果]

ボランティア活動への参加は出来なかったが、在宅生活に関わる業務なので地域住民の方とのコミュニケーションは取れたと思われる。

7【職員教育計画】

職員の技術、質の向上を図る。

[結果]

今年度も新型コロナウイルス感染症の関係で、Web研修を主に受講した。毎月研修を全員が受ける事が出来、技術・質の向上に活かせたと思う。

令和3年度 居宅介護支援プラントオフィス 事業報告

1【計画】

利用者の目標合計人数が、毎月1名以上の増加を目指す。近隣の町の利用者の受入れを行う。

【結果】

毎月新規の依頼と入院や入所、退院、退所で出入りがあり、利用者様の人数は120人～127人で推移している。令和3年度は、年間を通して10人増加したが、令和4年度は、120人前後で推移すると思われる。

江府町以外の市町村の利用者様の受入れについては、先述のとおり中止している。

2【計画】

特定事業所加算Ⅲの維持継続を目指す。

【結果】

継続実施している。

3【計画】

既に算定している加算を継続実施する。

加算名称	加算単位
特定事業所加算Ⅲ	300単位（1月）
居宅支援初回加算	300単位（1月につき）
居宅支援入院時情報連携加算Ⅱ	200単位
居宅支援入院時情報連携加算Ⅰ	100単位
居宅支援退院退所加算	300単位

【結果】

継続実施している。

4【地域交流計画】

江府町民生児童委員会へ参加する。

【結果】

4月～12月の間で4回出席できた。

5【職員教育計画】

内部及び外部の研修会へ積極的に参加する

【結果】

- ・事業所内のオンライン研修は月に1回実施できた。
- ・令和3年7月より主任介護支援専門員研修実施し終了・・・1名
- ・令和3年7月より介護支援専門員更新研修実施し終了・・・1名

6【関連事業計画1】

生計困難者に対する相談支援事業（えんくるり事業）の継続実施

【結果】

実際の援助は令和4年3月まで対象はなかった。事業は継続実施する。

【関連事業計画2】

社会福祉士実習生の受け入れの実施

[結果]

受け入れの要請なし。

7【Re:STRAT 支援事業】

令和2年度に引き続き江府町より委託を継続。町内のひきこもりの方の相談支援を実施する。

[結果]

対象者について月1回福祉事務所との連絡会議にて情報共有を継続的に行い、事業説明や相談のタイミングを計っている。

令和3年度 介護老人保健施設あやめ 事業報告

(短期入所含む)

1【計画】

「入所稼働率90%/年間を目指す。」

[結果]

達成できなかった。

2【計画】

「安心して療養していただくための健康管理」

[結果]

概ね実施できている。

3【計画】

「在宅復帰への支援と相談支援の強化と連携を行う」

[結果]

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	合計
退所数	4	5	3	4	8	6	30
内 病院退所	3	3	2	2	5	6	21
内 在宅退所	1	0	1	1	3	0	6
内 特養退所	0	0	0	1	0	0	1
内 永眠退所	0	2	0	0	0	0	2

令和3年度	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総合計
退所数	9	2	5	7	4	6	63
内 病院退所	7	2	3	5	3	2	43
内 在宅退所	1	0	1	1	1	2	12
内 特養退所	1	0	0	0	0	2	4
内 永眠退所	0	0	1	1	0	0	4

上記の通り在宅復帰は12名(退所全体に対して19%)にとどまった。

4【計画】

「生活期のリハビリテーションの充実」

[結果]

出来る範囲内で入所申込者の面談に同行して状態把握を行い、環整整備やケア方法の検討や援助の実施を行った。集中的なりハビリの実施も同様である。

5【計画】

「職員の仕事に対する意識・技能の強化」

[結果]

日常業務の振り返りや反省については毎月1回各部署や各ユニットでの会議やミーティングで行っているが、職員の意識・技能の向上や強化までには

至らず現状維持で推移した。

6【地域交流計画】

【計画】

「昨年度に引き続きコロナ禍の影響で各種行事の予定が不確定であるが、参加できる場合には感染症予防を徹底して参加する」

【結果】

コロナ禍により、昨年度同様殆どの行事等が中止を余儀なくされ実施できていない。

7【職員教育計画】

【計画】

「研修参加により技術の向上を図る（オンライン・ネット配信研修含む）」
「人材確保と育成を行う」

【結果】

コロナ禍により外部研修がなかなか出来ない状態であった。施設内で各委員会が研修を行った。業務に支障が出ないよう各研修は10人程度で実施。

8【行事計画】

4月	花見	10月	運動会
5月	藤の花見・運動会	11月	ユニット毎のレクリエーション
6月	ユニット毎のレクリエーション	12月	クリスマス会
7月	納涼会	1月	新年会
8月	ユニット毎のレクリエーション	2月	節分会
9月	敬老会	3月	ひな祭り

【結果】

新型コロナウイルス感染症防止の為、外部との交流も外出も出来ないので施設内で楽しめるように工夫した。

9【資格取得計画】

介護福祉士	1名以上合格
介護支援専門員	1名以上合格
初任者研修修了	1名以上合格
実務者研修修了	2名受講
喀痰吸引研修修了	2名受講

【結果】

介護福祉士1名合格

令和3年度 あやめ通所リハビリテーション 事業報告

1【計画】

「稼働率80%以上を目指します。」

【結果】

目標については、昨年度よりは増加したが、やはり入院入所、体調不良の当日欠席が多く目標には届かなかった。

2【計画】

「利用者様個々に応じたケアに努め、事故・苦情件数0件を目指します」

【結果】

今年度の事故は15件発生した。

3【計画】

「生活期のリハビリテーションの充実」

【結果】

当施設のリハビリにおいては概ね達成できているが、ご自宅の生活環境の把握が不足しており、訪問リハビリ、訪問看護などとの十分な情報共有には至っていない。

4【新型コロナウイルス感染症予防】

利用者様、職員に感染症は出ていないが、気を緩めず、引き続き感染予防を徹底して行いたい。

5【地域交流計画】

【計画】

「新型コロナウイルス感染予防を踏まえ、可能な限り地域のボランティアと交流できるよう働きかけていきたい」

【結果】

今期は、コロナ禍の影響でボランティア活動はできなかった。

6【職員教育計画】

【計画】

「可能な限り、内部及び外部の研修会へ積極的に参加し、自己啓発に努める」

【結果】

コロナ禍の影響で外部研修は難しかったが、ネット配信などを活用し、各種、内部研修を行った。業務に支障が出ないよう各研修は10人程度で実施。

7【行事計画】

4月	おやつバイキング・花見	10月	秋の大運動会
5月	こいのぼり運動会	11月	おやつバイキング
6月	おやつバイキング	12月	クリスマス会
7月	七夕祭り	1月	初笑い新年会
8月	納涼祭	2月	節分
9月	敬老会	3月	桜見物

[結果]

コロナの影響で行事も制限されたが、職員の創意工夫で利用者様に楽しんでいただいた。

毎月季節毎の壁画作りにも職員と共に取り組んでいただき、素晴らしい作品ができ満足されていた。

令和3年度 就労継続支援B型事業所江美の郷 事業報告

1【計画】

平均利用者数 10 名を達成し、安定的な運営を図る。

[結果]

平均通所者数：6.2 名 資料 1

2【計画】

障がい特性の理解。

[結果]

4 月：支援会議での共有 (4/27)

5 月：支援会議での共有 (5/26)

6 月：支援会議での共有 (6/28) 統合失調症の理解 (7/21) 1 名参加

7 月：支援会議での共有 (7/26) 発達障がいの理解 (8/18) 1 名参加

8 月：支援会議での共有 (8/27)

9 月：支援会議での共有 (9/27)、

10 月：支援会議での共有 (10/27)

11 月：支援会議での共有 (11/17)

12 月：支援会議での共有 (12/22)

1 月：支援会議での共有 (1/26)

2 月：虐待防止研修 (2/16) B 型 4 名+訪問 3 名参加

2 月：支援会議での共有 (2/18)

3 月：支援会議での共有 (3/18)

3【計画】

工賃向上に向けた取り組み。(平均工賃 20,000 円以上を目指す。)

施設外就労を増やし、工賃向上を図る。

カフェの年間売り上げ目標 4,000,000 円を達成する。

[結果]

平均額 17,879 円 資料 2

施設外就労には、現在登録 10 名中 8 人ができるようプランを立てている。

欠席や体調不良などで平均約 4 名/日の方が行かれている。

合計 3,642,994 円 実際の予算 3,835,000 円 95%・前年比 110.3%

コロナ禍で多くのバザー等が中止になった。9 月・10 月・11 月には、日野高校とのコラボのパンの注文があり作成した。10 月末と、12 月末にくろさかフェスタ及び大歳の市へ参加。

4【計画】

サービス品質向上のためのセルフチェックの実施

[結果]

個別支援計画は毎月支援会議やモニタリングにて内容の確認を行っている。

接遇内部研修 (8/26) を実施。

5【地域交流計画】

1. 江府中学校の校舎を磨く会
2. 小中学校との連携（課外授業・文化祭）
3. 江府町成人式へのチーズケーキの提供
4. ひなまつりコレクションへの参加
5. パン教室等の実施

【結果】

感染対策のため原則中止となったが、ひなまつりコレクションについては、施設内に飾りつけをし、コレクション用限定パンの作成と販売をした。

6【職員教育計画】

1. 内部及び外部の研修会へ積極的に参加する。
 - ・障がい福祉サービスについての研修 下記実施。
 - ・支援会議の毎月の開催。
 - ・Web研修 倫理と法令遵守
 - ・プライバシー保護・個人情報取り扱いの理解（6/18・6/23）
 - ・食中毒について（6/24）
 - ・Zoom 賞味期限延長を実現する微生物制御技術講習会（7/29）
 - ・YouTube 発達障害の基礎理解及び、「女性の発達障害を理解する」を鑑賞（7月）
 - ・身体障がいについての基礎研修（7/30）
 - ・統合失調症・気分障害の疾病の理解（8/27）
 - ・精神障害についての基礎研修（8/31）
 - ・てんかん発作について（7/26）
 - ・身体拘束についてのWeb研修 7月実施
 - ・発達障害の理解とその対応（9/10）
 - ・鳥取県障がい者虐待防止等研修(管理者・従事者)（10/5）
 - ・対人援助研修 Zoom（10/30）
 - ・コミュニケーション能力UPの為の研修 R4年2月（3回実施）3月1回内1回虐待防止研修同時開催
 - ・防災に関する避難訓練の実施 8月・12月実施。
 - ・手話研修の実施 中止。
2. サービス管理責任者の研修会へ1名以上参加する。

本年度は参加出来ていない。

7【行事計画・地域交流】

4月		10月	
5月	由志園	11月	サントリー工場見学
6月		12月	
7月		1月	新年会
8月	アイスクリーム作り	2月	
9月		3月	

[結果]

4月		10月	
5月	パン作り	11月	映画鑑賞『咲む』
6月		12月	クリスマスプレゼント
7月		1月	初詣・お弁当
8月	夏祭り（室内で工夫）	2月	
9月		3月	

令和3年度 相談支援事業所江美の郷 事業報告

1【計画】

日野町・江府町の委託相談支援事業所として地域づくりを推進していく

【結果】

訪問・面談・電話等による相談支援、関係機関との連携会議等を実施した。家族の高齢化、複合的な課題のある事例が増加しており、家族全体の支援を必要とするケースが増えている。関係機関との連携を行い、地域づくりも意識して業務を実施した。

2【計画】

計画相談支援・障害児相談支援の実施

【結果】

市町村の支給決定の時期により、集中する月があり業務量のバランスが取りにくい。県西部圏域では、計画相談事業所がパンク状態であり、新規利用者の待機など課題がある。米子市内の事業所から引継ぎを行っているが、米子市内の利用者の支援は移動時間も要するため、できるだけ郡部の利用者の引継ぎを受けていくようにした。

3【計画】

サービス品質向上の為にセルフチェックの実施

【結果】

週1回「ケース検討」を実施し、支援状況についての情報共有およびアセスメントや計画作成の視点の確認を行った。ご利用者、ご家族の立場を尊重およびニーズに沿った支援ができるよう資質向上に努めた。

4【職員教育計画】

1. 内部及び外部の研修会へ積極的に参加する

【結果】

相談支援専門員や医療ケア児コーディネーター養成研修の講師・ファシリテーターとして参加した。内部への研修としてB型事業所職員を対象にコミュニケーション研修を実施した。

2. 相談支援従事者初任者研修へ1名以上参加する

【結果】

法人内からの参加は実現できなかった。